

— 教員養成に関する情報公開 —

【看護学科】

1. 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

札幌保健医療大学保健医療学部看護学科は、大学の理念・目的に則り、「社会人としての人間力を涵養するとともに、看護学とこれに関連する保健医療福祉の幅広い知識・技術を体系的に理解し、看護を実践できる能力、多職種と連携し協働できる能力、さらに将来にわたり成長し続ける基礎的な能力を有する看護専門職者を育成する」ことを教育上の目的としています。

養護教諭一種免許状の取得を目指す本学の教職課程においては、看護学科の設置の趣旨を踏まえた人材養成とともに、専門分野における基礎的な知識・技術と豊かな人間性を有し、常に共感的姿勢をもって児童生徒とかかわることのできる実践的指導力の高い教員の育成を目的とし、次の目標を掲げています。

〔到達目標〕

1. 養護教諭として社会変化への対応力などの基礎となる幅広い教養を有している。
2. 使命感や教育的愛情など教員としての基本的資質を有している。
3. 養護教諭として子ども理解や指導法など実践の基礎となる知識・技能を有している。
4. 教育専門職者として高度な専門性と高い実践的指導力を有している。
5. 高いコミュニケーション能力を身につけ、学校教員、他の専門職者と連携・協働して課題解決を図る能力を有している。

〔年次目標〕

1. 1年次には教職の意義、教員の役割や職務内容を理解するとともに、教育の本質と目的の理解を深める。
2. 2年次には教育課程の意義、歴史、理念及び方法原理等を理解するとともに、教育における特別活動の位置づけや意義の理解を深める。
3. 3年次には各発達期における基本的問題、発達段階の区分等を理解するとともに、養護教諭の仕事と役割の理解を深める。
4. 4年次には看護学の臨地実習を終了後に学校現場において教科担当教諭と連携し教育実習を行う。また、4年間の教職課程の総括的な振り返りと学びにより理解を深める。

2. 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績に並びに各教員が担当する授業科目に関すること

[教員の養成に係る組織及び教員の数]

免許種	開講学部・学科	専任教員数
養護教諭一種免許	保健医療学部・栄養学科	2名

[教員養成に係る教員の学位、業績、担当授業科目]

●専任教員

教員名	職位	担当授業科目（教職課程）	単位数	開講学年・学期
加藤 隆	教授	教職概論	2	1 年次・前期
		教育原理	1	1 年次・後期
		道德教育論	1	2 年次・後期
		養護教育実習事前・事後指導	1	4 年次・通年
		養護教育実習	1	4 年次・通年
		教職実践演習	2	4 年次・後期
安念 保昌	教授	教育心理学	2	3 年次・前期

●非常勤講師

教員名	担当授業科目（教職課程）	単位数	開講学年・学期
佐藤 憲夫	教職概論	2	1 年次・前期
菅野 英人	教職概論	2	1 年次・前期
明田川 知美	教育制度論	1	1 年次・後期
	教育原理	1	1 年次・後期
松田 剛史	教育課程論	1	2 年次・前期
	教育方法論	1	2 年次・前期
高橋 公平	特別活動・総合的学習指導論	1	2 年次・後期
佐藤 憲夫	生徒指導論	2	2 年次・後期
川俣 智路	教育相談論	2	3 年次・後期
松井 由紀夫	特別支援教育概論	1	3 年次・後期
庄井 良信	教育原理	1	1 年次・後期
大室 道夫	特別活動・総合的学習指導論	1	2 年次・後期
	教育方法論	1	2 年次・前期

3. 教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること

〔養護に係る教育に関する科目〕 50 単位

免許法施行規則に定める科目区分	単位数	左記に対応する開設科目		
		科目名	単位数及び教職における必修・選択の別	
			必修	選択
衛生学・公衆衛生学（予防医学を含む）	4 単位	疫学	2 単位	
		生活環境論	2 単位	
		保健医療福祉行政論	1 単位	
		保健統計学 I	1 単位	
学校保健	2 単位	学校保健	2 単位	
養護概説	2 単位	養護概説	2 単位	
健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	2 単位	健康教育論	1 単位	
		援助関係論	1 単位	
栄養学（食品学を含む）	2 単位	栄養代謝学	1 単位	
		臨床栄養学	1 単位	
解剖学・生理学	2 単位	形態機能学 I	2 単位	
		形態機能学 II	2 単位	
「微生物学・免疫学・薬理概論」	2 単位	感染免疫学	2 単位	
		薬理学	2 単位	
精神保健	2 単位	精神看護学概論	2 単位	
看護学（臨床実習及び救急処置を含む）	10 単位	看護学概論	2 単位	
		看護技術総論	1 単位	
		看護技術論 I	2 単位	
		看護技術論 II	2 単位	
		看護技術論 III	1 単位	
		看護基礎実習 I	1 単位	
		看護基礎実習 II	2 単位	
		成人看護活動論 II	1 単位	
		成人看護活動論 III	1 単位	
		成人看護実習 I	1 単位	
		成人看護実習 II	2 単位	
		小児看護学概論	2 単位	
		小児看護活動論 I	1 単位	
		小児看護活動論 II	1 単位	
小児看護実習	2 単位			
母性看護学概論	2 単位			

〔教職に関する科目〕 21 単位

免許法施行規則に定める科目区分			左記に対応する開設科目		
項目	各科目に含める必要事項	単位数	科目名	単位数及び教職における必修・選択の別	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8 単位	教育原理	1 単位	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論	2 単位	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論	1 単位	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2 単位	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	1 単位	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	1 単位	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	6 単位	道徳教育論	1 単位	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		特別活動・総合的な学習指導論	1 単位	
	生徒指導の理論及び方法		教育方法論	1 単位	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		生徒指導論	1 単位	
			教育相談論	2 単位	
教育実践に関する科目	養護実習	5 単位	養護実習	4 単位	
	学校体験活動		養護教育実習事前事後指導	1 単位	
	教職実践演習	2 単位	教育実践演習（養護教諭）	2 単位	

4. 卒業者の教員免許状の取得の状況に関すること

初年次（2025年度）が履修生は19名。今後も20名前後の履修者を想定している。

5. 卒業者の教員への就職の状況に関すること（2025年3月現在）

未定

6. 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること。

- 養護教育や教職そのものの学びを広げるため、正課外で授業ボランティアなどの地域ボランティア活動に参加している。
- 教員としての資質能力や実践力などをより意識的に形成するため、履修者ごとに「履修カルテ」を作成し、これをもとに学びの振り返りを促し、個別面接指導を実施している。
- 定例的に教職に就いている卒業生をゲストとして招き教職履修学生との意見交換や交流を行っている。また、実際に養護教諭として活躍している近隣小中学校の教員を招き、教職履修学生との意見交換や交流を図り意欲の向上に努めている。
- 教員採用試験に向けて対策講座を複数回実施する（3年次4年次）